

往復 書簡



ここでは、「チャレンジレポート」で紹介された団体へ寄せられた、みなさんからの質問と、その団体からいただいた回答をご紹介します。

今回は、2009冬（第48号）で取り上げた「アンティ・マミー」（千葉県市川市）に関するものです。“隣のおばさん”であるマミーさんの研修などについて伺いました。



Q マミーさんの育成について「アンティ・マミー養成講座」がありますが、どの程度の頻度で行われているのでしょうか？また、研修の内容について、保育士が行うようなものなのかどうか、詳しく教えてください。

（静岡県Kさん、岐阜県Yさん）

A ① 「アンティ・マミー養成講座」は年間4回程度開催しています。市内を北と南地域に分け各2回ずつ、また、マミー不足やマミー希望者がいる場合などは臨時に行うこともあります。

② 研修の内容については、「アンティ・マミーの意義と内容」をお話し、「子どもの姿と関わり方」を中心に行っています。子育て支援センターの保育士が行っています。

③ アンティ・マミーで預かっているときに、子どもとどうかかわったらいいのかが分かるようにと心がけています（テキストは、ファミリーサポートセンターの協力会員の基礎研修会のテキストを使用）。

A ① 利用者からは1回500円の利用料をいただきます。そのみです。

② マミーは、登録する際に3,000円をいただきます。ボランティア保険代・マミーお揃いのエプロン代です。また、登録料を払うことで、ご自身がマミーへの自覚と責任をもってもらうという思いもあります。

③ その他は市のボランティア協会に加入し、助成金を少しいただいています。

④ 事業の回数については、今のところ各センターで2回の開催、マミーの定例会が月に1回、活動日は計3回で変更の予定はありません。時間についても、親からは「もっと長く」という声も時折聞かれますが、子どもが楽しいと感じて過ぎし帰れるには2時間がちょうど良いと感じていますので、延ばすことは考えていません。

Q 組織の運営の資金はどのようにされていますか？ 利用料500円のほか、年会費のようなものはありますか？ また、事業の回数を増やしたり、時間を長くしたりすることも検討されていますか？

（大阪府Oさん、奈良県Kさん）